



適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	イミシアホス を含む農業の 総使用回数	
だいこん	ネグサレセンチュウ	10~20kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	1回	
にんじん	ネコブセンチュウ	15~20kg/10a					
ほうれんそう	ネコブセンチュウ テンサイシストセンチュウ	20kg/10a					は種又は定植前
はくさい	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ		定植前				
キャベツ	ネグサレセンチュウ テンサイシストセンチュウ		定植14日前まで				
レタス 非結球レタス	ネグサレセンチュウ		15~20kg/10a				定植前
いちご	ネコブセンチュウ						
なす トマト ミニトマト つるむらさき	ネコブセンチュウ	20kg/10a	は種前				2回以内(定植 前の土壌混和 は1回以内、生 育期の土壌灌 注は1回以内)
メロン スイカ ピーマン きゅうり	ネコブセンチュウ						
にがうり	ダイズシストセンチュウ	20kg/10a	は種前				1回
だいず			は種又は定植前				
えだまめ	ネコブセンチュウ	15~50kg/10a	植付前				
オクラ	ネグサレセンチュウ	20~50kg/10a					
かんしょ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ ジャガイモシロシストセンチュウ	20kg/10a	植付前	10kg/10a			
	ジャガイモシストセンチュウ	15~20kg/10a					
		10kg/10a					
やまのいも	ネグサレセンチュウ	20kg/10a	植付前 又は 定植前	全面土壌混和			
さといも							
きく	ネコブセンチュウ ネダニ類	20kg/10a	定植前	作条土壌混和			
花き類・ 観葉植物 (きくを除く)							
にら	ネダニ類	10kg/10a	定植前	2回以内	土壌表面散布	2回以内	
らっきょう		5kg/10a	生育期 但し収穫 30日前まで	2回以内	土壌表面散布	2回以内	
みしまさいこ	ネコブセンチュウ	20kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	1回	

ネマキック粒剤/TA18-R08B





## ⚠ 効果・薬害等の注意

- 全面土壌混和で使用する場合には、所定量の薬剤をほ場全面に均一に散布し、土壌中に均等に分布するようによく混和する。
- 散布が不均一であったり、混和が不十分な場合には、効果不足や薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 土壌が乾燥している場合は、処理後に十分散水する。
- カラー、花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しない。また、使用后14日間は入水しない。
- ミツバチ及びマルハナバチに対して影響があるので、ミツバチ及びマルハナバチの巣箱及びその周辺にはかからないようにする。
- 蚕に対して、長期間毒性があるので、桑園に飛散しないように注意する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 空袋等はほ場などに放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理する。

## ⚠ 安全使用上の注意

- 誤食などのないように注意する。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。  
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

治療法…有機リン剤の解毒剤：硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤。

魚毒性等…該当なし

保管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

